

# ひろば 大代

No.482

令和元年9月号

大田市の人口  
(R1.9.1現在)  
大田市 34,521人  
内大代町 336人  
男 149人  
女 187人

## おめでとございます 敬老の日特集

### 米寿を迎えて

下市 田邊幸子



かがむ背に支柱のほしい年になる  
(私に才能がないものだから隣のWさ  
んの句をチョイと拝借。)

目覚めの朝、ベッドから立ち上がった時の嬉しさ、立ったり座ったり何回も繰り返す。私は生きていると実感。一人暮らしの私、朝五時、テレビ・新聞が私の相手をしてくれる。

〃 高齢化世界で日本突出〃 大代町もその例に漏れない。私もその中の一人。月日の経つのは早いもので、私も米寿を迎えた。八月の誕生日には、息子一家より「奈良四寺の御利益めぐり」の巡礼衣に、お祝のメッセージを届け



祝 88歳

下市 田邊幸子さん

植松 窪田三千恵さん

平 田邊ツルヨさん

てくれた。

二人の孫が「おばあちゃんが元気な時は私も元気、おばあちゃんが悲しい時は私も悲しい」「おばあちゃん、不安な時はいつでも言ってるね。」と。

九月八日(日)は大代町敬老会にご案内を頂いた。米寿八名中三名の出席。元気で出席できただけで最高の幸せ。敬老会のプログラムは米寿、喜寿、みんなの関心は記念品、箱の中は何？驚いた。ソープフラワー。初めてお目にかかる香り高いお祝の品だった。今は床の間に。

余興も田植囃子、民謡、神楽と盛り上がった。中でも私の心を引いたのは

昔懐かしい田植囃子。大代中学校時代子供達と一緒に田神おろしを口ずさみあちこち催し物に同行させて頂いた。思い出は尽きない。涙、自然と涙した。今後の課題は終活。老いと運転、免許返納は？独居生活はいつまで。私の家の窓越しに見える、崩れいく元農協倉庫の屋根、その向こうに見える緑の城山。何だか自分の人生を垣間見ているようで感慨一入。

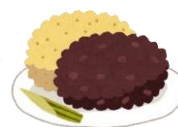
## 喜寿の祝いと介護

平 高村トミ子

九月八日(日)大代町敬老会がありました。暑い日が続いている中、私も喜寿の祝いをしていただきました。

福祉委員・自治会・婦人会の方々は大変なお世話をしていただき、ありがとうございました。思ってもみないひとときを過ごすことができました。

私は長い間、家で病気の主人の介護をしています。病人も大変ですが、介護をする人はもっと大変です。皆様も身体に気を付けて病気になるないように



にしてください。  
主人は最近になって、病院に入院することになりました。



祝77歳

高村トミ子さん

上飯谷  
竹内浩さん

近況報告をしたいと思います。先日、主人の親戚から新米をいただいたので、少しかゆを作って持って行って食べてさせると、目に涙を浮かべて「美味しかった！」と喜んでくれました。「作って持って行ってよかったなあ」と心からうれしく思いました。

これからまだまだ暑さが続きますので、水分をしっかりと摂って、元気で主人の介護をしていきたいと思えます。お世話になっている病院の先生、看護師の方々にもお礼を言いたいです。いつも本当にありがとうございます。

## 敬老会が終わって

### 報告及びお礼

大代地区社協会長 高村 清



9月8日(日)、旧大代小学校体育館で今年も敬老会を開催しました。主賓である町内在住の75歳以上の人127名のうち、64名の出席を得、来賓の方の列席のもと、連合自治会、婦人会、地区社協、町民の皆様のご協力を

得て実施しました。皆様、本当にありがとうございました。特に、今年は残暑が長くいつまでも気温が高く、開催当日を非常に危ぶんでいました。当日も暑さは厳しかったものの、皆様方の協力のもと事故もなく終えることができました。

今年の米寿の方は8名、喜寿の方は4名でした。また新入会員の方は8名でした。

今年のアトラクションは、小笠原流田植囃子(大代町田植囃子保存会の皆様)、なぎさ会(大田市東部地域の皆様)による民謡・踊り、神楽(大江高山神楽社中の皆様)の豪華3本立てで行いました。

最初の田植囃子は、大代町での敬老会では一昨年、昨年に引き続き3回連続での披露となりました。会場入り口よりスタートです。采ふりの掛け声とともに、皆様の拍手がわき、最初の「道行」が始まりました。陣笠をかぶつての袴衣装の采ふりを先頭に、小太鼓3人、横笛3人、胴(太鼓)5人、早乙女6人の順に、会場客席後方を半周して、その後、胴(太鼓)5人は体育館

ステージ上に、早乙女、笛、小太鼓はステージ下に並び終えるまで続きました。そして、采ふりの掛け声を基に田植囃子が始まりました。「道行」での列の華やかさ、舞台での早乙女の歌声と笛を持つての田植えの所作、小太鼓、横笛と舞台上での胴（太鼓）との一体感、そして一番の見せどころである胴（太鼓）の力強い早打ち場面と。特徴の強く感じられる場面では、拍手の勢いもさらに大きく感じられました。その後、帰りの「道行」の演目を行いながら、舞台を後にして終わられました。

敬老会会員の方の中に実際に田植囃子を行っておられた方、田植囃子そのものと共に世代を生き抜いてこられていますので「何度見ても、いつ見ても良い。」との感想を聞いています。個人的には私自身もその一人です。保存会の皆様には感謝の一言です。

続いて「なぎさ会」による民謡と踊りです。日本古来の民謡から、しげさ節、傘踊りまで、幅広く卓越された踊りと民謡に、皆様見入っておられました。

最後は神楽で、恵比寿、道返しちがえの演

目が舞われました。恵比寿ではえびっさんから敬老会の皆様等にお一人ずつ「福の飴」が配られ、また、道返しの演目では、神様と鬼との戦いの様子が華麗に舞われ、皆様の拍手喝さいを得られていました。

敬老会の会員の皆様、今年はこのよう催しましたが、時間を忘れ、ひと時を楽しんでいただけでしたか？

最後になりましたが、会員の皆様、来年も必ず、出席してください。自治会、婦人会の皆様を協力を得て、各福祉委員ともども来年も満足していただけるような企画をしていければと思っています。

## インターンシップで 大代町を訪れました

島根県立大学 板垣朝美

私は先月、インターンシップに参加し、大田市役所のまちづくり定住課でまちづくりについて学びました。

8月29日（木）に職員の方と同行し、大代のまちづくりセンターで行なわれていた、通いの場や大代のセンター長



さんの説明を受けながら、大江高山「きずな館」で行なわれているまちづくりについてお話を聴きました。

通いの場では、「0854-8」の歌にあわせた体操の後にさかなや旬樂さんの落語が上演されました。一人で複数の役を演じておられて、女性役、男性役も声の高さやしぐさで演じ分け、旬樂さんの落語に圧倒されました。情景が自然と浮かんできて、お話の世界に引き込まれました。私は、落語を見るのは初めてでしたが、とても面白かったです。

次に、大江高山「きずな館」に移動



し、まちづくりについて大代センター  
長さんからお話を聞き、館内の説明を  
受けました。

大代町では、柚子胡椒を使ったまち  
づくりをされており、近年は5000  
個も売れているそうです。柚子胡椒を  
製造・販売をするきっかけとなったの  
が大代幼稚園の運営費確保のためだっ  
たと伺いました。その後、園児確保が  
困難となり幼稚園は廃園しましたが、  
その後「大代ゆずっこくらぶ」を結成  
し、柚子胡椒の製造・販売は継続され  
ました。私は、柚子胡椒のにおいをか  
がせてもらうと、ゆずの良い香りがし  
ました。この柚子は管理できなくなっ  
たゆず畑を活用して作られたものだそ  
うです。柚子胡椒を使ったまちづくり  
は畑の管理が出来るようになったり、  
いろいろな人が関わり交流する場が出  
来るなど様々な課題を解決できるとで  
も良い活動であると思いました。

大代町では、いろいろなまちづくり  
がなされており、柚子胡椒の他にも高  
山高原味噌や「高山そば道場」のそば  
などを使ったまちづくりをされていま  
す。私は、今回大代町を訪れ、大代町

のまちづくりや魅力を知ることができ、  
とても勉強になりました。また、大代  
町を訪れてみたいと思います。

※インターンシップⅡ学生が就業  
前に一定期間企業などで働く「職業体  
験」のこと。

Ⅱ俳句Ⅱ

あすなる句会

椿 花田時子

冷し酒 なにはともあれ 生身魂 いきみたま

月の出を 待ちし孫子の 声弾む

下市 今田文子

風立ちて 花野の揺らぐ 道を行く

高山を 仰ぎ花野の 行き止まり

川上 岩田律枝

生き残る 者の勤めの 墓掃除

天の川 離れ住む子に 思い馳せ

上市 横田美恵子

秋立つも 暑さは続く いつまでも

七夕や 孫の願ひの 多かりき

椿 榎原敏子

猛暑日も あと少しだと 言ひ聞かす

秋一日 菓子を控えて 検診日



椿 柿丸寿枝  
苦も楽も 記憶に秘めし 敗戦忌  
嵐それ 朝陽に映えし 大花野

10月行事予定

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

▼ 1日(火) 大腸がん検査容器配布

▼ 3日(木) えびすの会

▼ 6日(日) 町民運動会(雨天体育館)

午前9時〜旧小学校校庭にて

▼ 10日(木) えびすの会

▼ 17日(木) えびすの会

▼ 20日(日) 社協会議

▼ 20日(日) 直売所イベント

新米よもぎ餅販売 午前9時〜

▼ 23日(水) 石清水八幡宮例大祭

▼ 23日(水) 連合自治会

▼ 24日(木) えびすの会

▼ 31日(木) えびすの会

Ⅱ編集後記Ⅱ

台風15号の被害に遭われた皆様に  
心からお見舞い申し上げます。早めの  
復旧を願っております。

